

立教大学の日本語教育

1. 日本語教育センター（CJLE）

- (1) 立教大学は、留学生の日本語教育を強化するために2011年に日本語教育センターを開設しました。立教大学の日本語科目は、日本語教育センターによって運営されています。

2. CJLEの日本語教育

- (1) CJLEの日本語教育は、たんに日本語の知識を得ることではなく、それらの知識を「正しい日本語で、スムーズに、正しく使いこなす能力を磨くこと」を目標としています。そのため、正しい日本語を使えていない、瞬時に答えられない、過去に勉強したことがあるが忘れてしまっている場合は、希望するレベルではないクラスに決定するかもしれません。しかし、決定したクラスで真剣に日本語の学習に取り組んでみてください。格段に日本語能力が向上するはずです。

日本語科目の授業

1. 学期

- 本学の授業は1年を2学期に分けて行われます。それぞれを春学期、秋学期と呼びます。
- 本年度の各学期の授業開始日は下記のとおりです。
春学期：4月10日（金）
秋学期：9月21日（月）

2. 授業時間

- 授業時間は下記のとおりです。

時 限	1	2	3	4	5
授業時間	9 : 0 0	1 0 : 4 5	1 3 : 1 5	1 5 : 0 0	1 6 : 4 0
	∟	∟	∟	∟	∟
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 5	1 4 : 4 5	1 6 : 3 0	1 8 : 1 0

3. 休 講

- 日本語科目では原則として休講はありません。
- 休講がある場合は、掲示板（インフォメーションボード）に表示します。
<掲示板（インフォメーションボード）設置場所>

池袋キャンパス	新座キャンパス
8号館1階 / 5号館1階	1号館1階 / 4号館2階

- 休講は、ホームページからも確認することができます。
日本語 http://www.rikkyo.ac.jp/support/academic_affairs/academic_division/
英 語 <http://wwwj.rikkyo.ac.jp/kyomubu/cancel/CancelE.aspx>
* 日本語科目の休講を表示するには、COLLEGEのプルダウンメニューからOTHERを選択してください。
- 休講の掲示がないにもかかわらず、授業開始時間から30分以上経過しても日本語担当教員が入室しない場合は、日本語教育センター事務局（池袋キャンパス：マキムホール1階国際センター内、新座キャンパス：7号館2階国際センター内）に連絡してください。
- 大規模地震の警戒宣言が発令された場合、台風の接近が予想される場合の休講の措置は19ページを参照してください。

4. 授業の欠席

- 本学では、学校感染症により出校停止となった場合のみ、欠席扱いとはしません。その他の理由で授業に出席しない場合は欠席となります。**（いわゆる公欠制度は設けていません。）**

- (2) 学校感染症第1種・第2種に罹患した場合は大学に来てはいけません。すみやかに下記に連絡し、指示を受けてください。

池袋キャンパス	新座キャンパス
教務事務センター 電話 03-3985-2220	教務課 電話 048-471-6942

<対象となる学校感染症第1種・第2種>

	疾患名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9)
第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N, H7N9)を除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、喉頭結膜熱、結核、髄膜炎、菌性髄膜炎

5. 補講

- (1) 日本語科目については補講をおこないません。

6. 授業でのマナー

- (1) **遅刻や欠席をしてはいけません。**
- (2) **あらかじめ遅刻、早退、欠席することがわかっている場合は、事前に担当教員に伝えてください。当日になって遅刻、早退、欠席しなくてはならなくなった場合は、クラスメイトに先生への連絡を依頼するか、担当教員にメールにより連絡してください。**
- (3) 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (4) 授業中にものを食べてはいけません。
- (5) 教室の中では、日本語だけで話しましょう。

日本語科目の履修

1. 日本語科目のクラス・レベル・履修資格

- (1) 日本語科目には、J0～J8 までの9つのレベルがあり、履修する日本語クラスはプレースメントテストの結果（レベル）で決まります。レベルの詳細は下記のとおりです。

クラス レベル	履修資格
J0	日本語学習経験のない学生（あるいは少ない学生）で、日常生活に必要な日本語を学びたい学生。*このコースは半期完結であるため、継続して日本語を学びたい学生向けではない。
J1・J1S	日本語学習経験のない学生、動詞・形容詞の基本的活用が完全でない学生。ひらがな、カタカナの読み書きができる学生。
J2・J2S	非常に基本的な日本語（動詞や形容詞の基本的活用、語彙500語）を身につけている学生。
J3・J3S	日本語の基礎的事項を習得している学生（1,000語程度の語彙、初級前半の文型）。
J4	初級文型、基本語彙（2,000語程度）を習得している学生。日常生活のほとんどの場面で日本語により対応できる学生。
J5	日常生活の場面では、何の困難や問題もなく日本語で対応できる学生。
J6	一般的な事柄について会話ができ、日本語の雑誌、新聞が辞書を使いながらある程度読める、また、自分の意見を日本語である程度書ける学生。
J7	政治、経済、社会情勢などの高度な内容について会話ができ、日本語の雑誌や新聞がある程度正確に読める、また、それらの内容について自分の意見がある程度正確に書ける学生。
J8	高度の文法、漢字、語彙を習得しており、大学における学習・研究が十分日本語で行える学生。

- (2) 日本語を学ぶだけでなく、日本語を道具として日本の文化や社会を学ぶ下記の科目も開講されています。

科目	履修資格
Japanese Language and Japanese Culture	日本語レベルは問いません
日本語演習 1（日本のアニメ、歌）	J2、J2S レベル対象
日本語演習 2（日本の映画、マンガ）	J3、J3S レベル対象
日本語演習 3（日本の小説、詩）	J4、J5 レベル対象

2. 日本語プレイスメントテスト

- (1) **日本語科目の履修を希望する学生は、日本語プレイスメントテストを受けなければなりません。**プレイスメントテストでは、文法・作文・読解の筆記テストと面接を行います。なお日本語を学習した経験がない、または少ない学生には、面接とひらがな・カタカナのテストを行います。
- * 継続学生には、筆記テストのみ行います。

3. 日本語科目の単位

- (1) 日本語科目の単位は、下記のように与えられます。
個々の科目の単位は、p. 25~28 を参照してください。

時間数	単位
日本語科目（週1回90分、1学期15週）	1単位
日本語科目（週3回各90分、1学期15週） * J0、J1S、J2S、J3S が該当します	3単位

4. 日本語科目の履修上の注意

- (1) **プレイスメントテストの結果によって指定されたレベル以外の授業を履修することはできません。**また聴講することもできません。
- (2) 学期の途中でレベルを変更することはできません。
- (3) J1~J3 と J1S~J3S は、学期終了時の到達目標は同じですが、授業を進める速さが異なります。
- (4) **J1~J3 は、週5回の授業が連動して進むため、すべての授業を履修するようにしてください。**
- (5) **J0、J1S~J3S は、週3回の授業をすべて履修しなければなりません。**
- (6) J1S~J3S クラスを希望しても、プレイスメントテストの結果によっては、J1~J3 クラスを履修することになります。
- (7) **J4 レベル以上の学生は、決定された授業の中から、希望する授業を履修することができます。**
- (8) J1、J1S の授業は、主に英語によって説明を行います。授業の進行にあわせ、日本語での説明を増やしていきます。
- (9) 中級日本語A と B は同時に履修することが可能です。
- (10) 中級日本語C と D は同時に履修することが可能です。
- (11) 中級日本語A~D は、J4、J5、J6科目と同時に履修することが可能です。

- (12) ビジネス日本語口頭2を履修するためには、ビジネス日本語口頭1の単位を修得していることが必要です。

5. 日本語科目の登録方法

- (1) 履修ガイダンスで指示を受けてください。

日本語科目の成績評価

1. 日本語科目の成績評価

- (1) 日本語科目の評価は、出席、授業中に行うクイズ・テスト、授業への参加度、宿題等によって決まります。春学期末・秋学期末に行われる定期試験期間中に試験は実施しません。個々の科目の成績評価方法は講義内容を参照してください。
- (2) 成績評価は下記のとおりです。
 * 単位を修得した科目の評価を取り消すことはできません。

<成績の評価>

評価		評価基準	成績証明書 の表示
合格	S 100点～90点	当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる	S
	A 89点～80点	当該科目の目標を十分に達成していると認められる	A
	B 79点～70点	当該科目の目標の基幹部分は達成していると認められる	B
	C 69点～60点	当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる	C
不合格	D 59点～0点	当該科目の目標に及ばない	表示 されない
	欠席 (欠)	試験未受験等により評価できないもの	

成績証明書は対外的に発行されるものです。履修した科目のうち、単位を修得した科目の成績評価結果のみが記載されます。

<成績の発表・成績証明書の発行について>

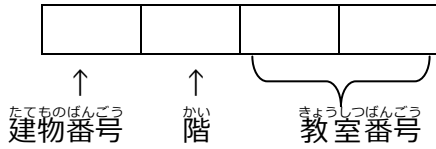
成績の発表	成績証明書の発行		
在学中	在学中	修了時	修了後
3月下旬／9月中旬に https://r.rikkyo.ac.jp/ (履修登録システム/ 成績参照システム)で 確認してください。	希望者は教務事務 センターまたは 新座キャンパス 事務部教務課に申 し込んでください (有料)。 ※日本語、英語と も翌日発行。	4月上旬／9月 中旬に日本語・ 英語各1通を、原則 として、協定校の 担当者に送付しま す(無料)。	希望者は教務事務 センターに申し込 んでください (有料)。

その他

1. 教室番号の見方

(1) 教室番号は、4桁の数字であらわします。それぞれの数字の意味は下記のとおりです。

〈池袋キャンパス〉



例) 4411 = 4号館4階11号教室

9B01 = 9号館B階(地階)1号教室

* 3番目の数字が『5』の場合、別館を指します。

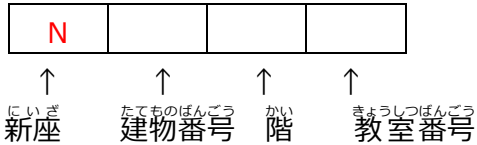
例) 4152 = 4号館別館1階2号教室

建物番号 早見表

1 = 本館	C = 13号館
4 = 4号館	D = 14号館
9 = 9号館	M = マキムホール
X = 10号館	(15号館)
A = 11号館	T = タッカーホール
B = 12号館	

〈新座キャンパス〉

最初が『N』の場合、新座キャンパスの教室です。



例) N849 = 新座キャンパス 8号館4階9号教室

大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置

本学は、大規模な地震の発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づき地震防災対策強化地域判定会(*)の招集が確認された場合には、授業を休講とし、次の措置をとります。

- (1) 在宅中および通学途中の者は、登校を中止してください。
- (2) 在学中の者は、大学からの連絡および指示に従ってください。
- (3) 警戒宣言解除後の授業の再開については、以下のとおりとします。
 - ① 警戒宣言が午前5時までに解除された場合は、平常どおり授業を行います。
 - ② 警戒宣言が午前9時までに解除された場合は、午前中の授業を休講とし、午後からの授業を行います。
 - ③ 警戒宣言が午前9時までに解除されない場合は、当日の授業を全日休講とします。

なお、全日休講の場合は、大学の諸業務（窓口業務を含む）を行いません。

* 地震防災対策強化地域判定会

大規模地震対策特別措置法第3条1項に規定する地震防災対策強化地域に係る大規模な地震の発生のおそれに関する判定を行うために、気象庁長官の要請によって招集される判定会をいう。

台風の接近が予想される場合の措置

台風の接近等により、授業を平常どおり行うことができないと判断された場合は、休講などの特別措置をとります。特別措置の内容については、掲示、ホームページまたは電話で確認してください。

立教大学ホームページ <http://www.rikkyo.ac.jp/>

電話による問合せ先	池袋キャンパス教務部	TEL 03-3985-2220
	新座キャンパス事務部	TEL 048-471-6942
	独立研究科事務室	TEL 03-3985-3321

- * 試験期間についても前記と同様の措置をとることがあります。
- * 大学の窓口業務、諸施設の利用については、ホームページおよび掲示でお知らせします。